

＜参考＞平成29年度における10年債発行額の減額調整について

○ 10月～12月における10年債発行額を減額

⇒平成28年度決算における資金需要の減少及び戦略的な起債発行に資することを目的にフレックス枠を拡大するため、10月～12月における10年債の発行額を100億円に設定

発行月	10月	11月	12月
発行額	100億円	100億円	100億円
応募者利回り	0.195%	0.172%	0.186%
発行額を200億円とした場合の 応募者利回り(試算)	0.205%	0.190%	0.202%

○ フレックス枠を活用した超長期債を発行(5月、9月)

⇒5月に15年・20年定時償還債を計200億円、9月に20年満期一括償還及び30年定時償還債を計600億円発行したことで、平成29年度の平均調達期間及び平均発行年限の延伸に寄与

	当初予定		
		200億円の減額を 10年債のみで行った 場合	10年債を300億円減 額しフレックス枠を100 億円増額
発行総額	7,000億円	6,800億円	6,800億円
平均調達期間	8.62年	8.67年	8.69年
平均発行年限	9.29年	9.65年	9.73年